

## 北陸技術士懇談会 50 周年記念事業

### 1. はじめに

北陸技術士懇談会 50 周年記念事業が、令和元年 11 月 9 (土) にKKRホテル金沢で開催された。

北陸技術士懇談会 (以下、懇談会) は、昭和 44 年 8 月に発足し、北陸 3 県 (福井・石川・富山) の技術士、技術士補の親睦と情報交換等を図ることにより、技術士業務の普及・進歩・改善および地域 (社会) 貢献に寄与することを目的としている。

現在、会員は約 1800 名で、総会、研修会、技術相談、新技術士合格祝賀会、新しく技術士や技術士補を目指す方々への受験相談等も行っている。

### 2. 記念事業の概要

50 周年記念事業として、記念式典・記念講演会・祝賀会が行われた。参加者は約 110 名であった。

表-1 北陸技術士懇談会 50 周年記念事業の概要

- |  |
|--|
| (1) 記念式典 (開会挨拶、来賓祝辞、感謝状贈呈等)  |
| (2) 記念講演   |
| ①松尾 隆 氏 (㈱コーエイリサーチ&コンサルティング<br>コンサルティング事業部 主席コンサルタント)<br>「グローバルな視点からのインフラ整備」 |
| ②川上 洋司 氏 (福井大学名誉教授)<br>「一体化に向けた北陸の地域づくり<br>～したたかでしなやかに～」                     |
| (3) 祝賀会 (開会挨拶、来賓祝辞等)   |

#### (1) 記念式典

橋本栄治会長の開会挨拶では、懇談会の設立 50 周年を機に、愛称とロゴマークを制定し、ロゴマークは、技術士の英語表記「professional engineers」の p と e に、北陸三県の F (福井)、I (石川)、T (富山) の頭文字を組み合わせてデザインしたこと。また、色彩は、北陸三県に共通する「青」は日本海、「緑」は豊かな自然、「オレンジ」は大地や歴史文化をイメージして、ベースの「青色」は技術士の知性を表現したこと。愛称は、北陸三県の頭文字「FIT」(フィット) としたと説明があった。



橋本会長の挨拶

また、来賓として与党技術士議員連盟幹事長 参議院議員 足立敏之様と、公益社団法人 日本技術士会 北陸本部 本部長 大谷政敬様から祝辞を賜わった。

その後、北陸技術士懇談会 大深伸尚理事より、懇談会の 50 年の歴史について報告があった。

さらに、本会の活動に多大な貢献をされた会員の方々に橋本会長より、感謝状の贈呈があり、感謝状贈呈者を代表して、屋敷弘相談役から謝辞の挨拶があった。

#### (2) 記念講演会

##### ①松尾隆氏 (㈱コーエイリサーチ&コンサルティング)

松尾氏の前職であるアジア開発銀行での研究報告を元に、成長するアジア・アフリカには膨大なインフラ需要が存在すること。しかしながら、日本企業は、ゼネコン、コンサルタント共に、海外売上高は世界上位に食い込んでおらず、コンサルタントの海外売り上げは、ODAに大きく依存しており、ODA以外の海外進出の壁はまだ高いと講演された。

##### ②川上 洋司氏 (福井大学名誉教授)

金沢・敦賀間、その先の北陸新幹線全線開通は、北陸の位置づけ (役割) を大きく変える。そのことを踏まえた地域づくり戦略が必要である。その戦略としては、地域の貴重な資源を発掘し、磨き上げ、結び付ける地域総体としての魅力づくりと、高速交通 (新幹線・高速道路) を幹として、地域内交通網 (二次交通) を整備し、地域資源を結ぶアクセスの確保が必要である。成熟社会における新たな地域発展モデルを示す意識が求められると講演された。

最後に、記念式典及び講演会を通して、大石守仁副会長より閉会の挨拶があった。

#### (3) 祝賀会

祝賀会では、来賓として国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所長 山田哲也様、石川県土木部部長 竹俣隆一様から祝辞を賜わり、有澤良一前会長の乾杯が始まった。多くの参加者で 50 周年を祝い、盛会であった。最後は、今度充之副会長の中締めで散会となった。



祝賀会の様子

(石川 埒正浩)